

No dumping! ゴミを捨てないで!

ボランティア新聞

発行日 8月

海でゴミ拾い

僕は、旅行で京都の海に行った二日目の朝に、ゴミ拾いをしました。ここでゴミ拾いをしようと思った理由は2つあります。

まず、一つ目は、この場所でも去年もゴミ拾いをしました。今年もゴミの量や種類を比べてみたからです。二つ目の理由は、今年は去年より人が多かったから、ゴミもその分多いと思ったからです。

それでは、今年のゴミの種類を紹介します。

今年は、バーベキューをする場所も見回りました。



ゴミの種類

- ・ティッシュ
- ・ビン
- ・袋
- ・花火
- ・約り糸と針
- ・電球

海には、これらのようなゴミが流れてきました。このゴミの中には、韓国から流れてきたものもありました。

まず、一つ目は、この国の文字で書かれたゴミの袋もありました。赤色で書いたビン、約り糸と針、電球などは、砂浜を裸足で歩く人達にはとても危険です。これらのようなゴミ以外にも、イカやクラゲの死体が流れてきています。

人間が作りだす悪い環境

Q. 海洋ゴミとは?

A. 海洋ゴミとは、人々が海から遠く離れた道路や川などに捨てたゴミが、雨に流されたり風に吹かれたり下水を通ったりして海に流れ出したゴミのことです。

海洋ゴミの多くは、海から数百キロも離れた内陸部で捨てられたものです。

海洋ゴミの原因は、その他にもたくさんあります。ビーチでピクニックをした時や釣りをした時に捨てたゴミのポイ捨てや、漁師さんたちが漁に使った網やロープをそのまま海に放置した物、また家庭や工場から出たゴミを直接海に捨てたものも、海洋ゴミになります。こうして、毎年世界各地から海に流れ出した海洋ゴミが、すくなく増えています。

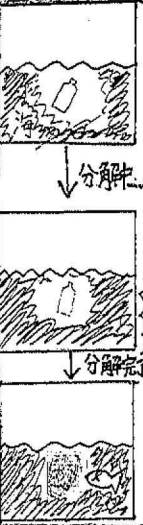
海に流れ出したゴミは、近くを流れる海流に乗って海を漂いながら、遠く離れた地域や外国の海岸に流れていきます。それが今回のゴミ拾いで見つけた韓国のゴミです。このようなゴミが海を流れると、その流れ着いた海や海岸に生息する多くの生物や環境に悪い影響を与えています。

「海に流れ出したゴミが、海水によって分解されるまでの時間」

ペーパータオル ↓ 254週間

ペットボトル ↓ 450年

新聞 ↓ 6週間



まとめ

海の生き物にとって危険なゴミが、たくさん海岸に打ち寄せられています。海の生き物の命を守るために、海岸のゴミ清掃にみんな協力しましょう。

感想

僕は今年もゴミ拾いをして、今年は去年よりはゴミの量が少なかったのが良かったです。

僕が今回知った事は、普段そのへんに落ちていたゴミが、風や雨や川に流されて、最終的には海にゴミが流れていくということです。

達に出来る事は、まず自分達の町からゴミをなくす事です。

